

## 2種類の診断法学ぶ

### 構造物の非破壊検査研修会

県コンクリート診断士

県コンクリート診断士会（石川裕夏会長）主催の非破壊検査研修会が8日、敦賀市長谷の若狭湾エネルギー研究センターで開催され、約20人の

参加者は、電磁波レダ一法および電磁誘導法によるコンクリート構造物の診断に関する知識を深めた。はじめに、非破壊検査



実機による診断法を学ぶ参加者

社（大阪府大阪市）から招かれた講師が、それぞれの診断方法や特徴などを説明。引き続き、参加者が実際の機器を使って構造物の鉄筋配置状況を測定するなど、技術習得に努めていた。同士会によると、非破壊検査方法での鉄筋探索が急速に高まってきているに加え、06年度から国土交通省管轄の橋りょう工事で、鉄筋の配筋状況等の確認が義務付けられたことから、同研修会を企画したとしている。